



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

3

No. 595



まちひと百景

全国の米との食べ比べにも負けない!

岩見地域環境保全隊の研修で行われた全国のお米との食べ比べ。山形県のポストコシヒカリの「つや姫」やコシヒカリからつくられた石川県の「夢ごち」など3種類と、岩見地区の農業後継者の花井望睦さん(写真手前)がつくった「ゆめびりか」、今光さん(写真手前から2番目)がつくった「ななつぼし」との食べ比べが行われたが、一番評価がよかったのが花井さんのつくったお米で、今さんのお米も第3位となった。

もう、北海道のお米がおいしくないとは言わせない。

- 中部三町村子ども会かるた大会優勝ほか…2
- 苫前町史執筆者会議ほか…3
- 地元農産品・水産品の料理教室ほか…4
- 苫前中PTA教育講演会ほか…5
- 留萌支庁長旗争奪管内かるた大会ほか…6
- マスコットづくり・地域社会貢献事業ほか…7
- 国民年金・文芸…8
- 国保ガイド・介護保険・福祉Q&A…9
- 健康ばんざい…10
- 学びの広場…11
- 住まいる情報…12~13
- ちびっこギャラリー…14

まちの人口

人口/3,617人 (男/1,700人:女/1,917人)
世帯数/1,635世帯 (2月28日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

留萌管内中部三町村子ども会かるた大会で中学生チームが優勝！全道へ

1月15日(土)に初山別村自然交流センターで開催された留萌管内中部3町村子ども会かるた大会において、中学生の部の苫前風チームが優勝し全道大会への出場権を獲得した。

本町からは小学生2チーム、中学生2チームが出場、小学生の部では羽幌町、初山別村よりあわせて10チームが参加し全道大会に向け熱戦が繰り広げられたが、苫前空チームが第3位になったものの、苫前海チームは決勝トーナメント1回戦で涙をのんだ。

一方、中学生の部では初山別村4チームとあわせて6チームにより争われた。苫前嵐チームは1回戦は負けたものの、続く敗者復活戦、2回戦でも勝利したが、準決勝で敗退した。苫前風チームは1回戦で勝利のあと、くじ運にも恵まれ2回戦では不戦勝で準決勝へ、準決勝では優勝候補の初山別Aチームと対戦。序盤は有利だったが、中盤から後半は初山別Aチームが攻勢に転じ、初山別Aチーム1枚、苫前風チーム3枚で終盤を迎えたが、大逆転勝利を収めた。

決勝は初山別Bチームとの対戦であったが、波に乗った苫前風チームは相手を寄せ付けず見事優勝、中学生の部では平成15年度以来、7年ぶりの優勝となった。

優勝を収めた苫前風チームは、練習を重ね2月27日(日)に札幌市定山溪で開催される北海道子ども会育成連絡協議会主催の第14回全道子ども会かるた大会へ出場する。

◎留萌中部三町村子ども会かるた大会結果(本町分入賞チームのみ)

・小学生の部

第3位 苫前空：本田脩陽、鴨田栞里、本田愛珠

・中学生の部

優勝 苫前風：小澤菜摘、鴨田将来、長澤菜由佳



第14回北海道子ども会かるた大会で中学生チームが2回戦で惜敗

2月27日(日)札幌市定山溪で開催された北海道子ども会育成連絡協議会主催の第14回北海道子ども会かるた大会に、留萌中部三町村子ども会かるた大会を優勝した本町中学生チームが出場した。



1回戦は、八雲町相沼Aチームと対戦、序盤はリードしたものの中盤以降は相手チームに主導権を握られ、終盤は相手1枚、自チーム9枚に、そこから怒濤の追い上げで試合を見事ひっくり返し勝利した。

2回戦は、むかわ町紅の早乙女チームと対戦、一進一退の攻防で進めたものの、1回戦の再現とはならず惜しくも敗退した。

出場メンバーは次のとおり

○苫前町子ども会チーム

小澤 菜摘、鴨田 将来、長澤菜由佳、鴨田 祥宏、岸 仁美

北るもい漁業協同組合苫前支所苫前市場改修竣工式・大漁祈願祭・船霊祭

1月15日(土)北るもい漁業協同組合苫前支所苫前市場(衛生管理型定温荷捌所)改修竣工式を開催、大漁祈願祭、船霊祭もこの日にあわせて行われ、今隆北るもい漁協代表理事組合長のほか、森町長、星野恭司議長などの来賓、漁業従事者などあわせて約80人が出席、新しい市場の完成と本年の大漁と安全を祈願した。

この苫前市場(荷捌所)は、水産業界では全国で初めてとなる雪冷熱を利用した施設で、集荷された魚の鮮度を保つため、冬期間に備蓄した雪の冷熱エネルギーを利用して場内の温度を一定にするもので、8月ごろまで市場内を15~18℃に保つことを想定している。

総事業費は北海道の地域づくり総合交付金と町の助成などあわせて5,800万円で、荷捌所、買受人室、雪貯蔵室などを整備、雪備蓄室は整備中で約500トンの雪を備蓄できるものとなっている。

とままえ温泉ふわっとで開催された祝賀会で今組合長は「北海道や町の支援をいただき改修できたことにお礼を申し上げたい。このことは私どもに対する大きな期待の表れとして大変うれしく思う。漁港整備が水揚げ、漁業者の収入増につながることを期待するとともに、組織としては喫緊の課題を解決していきたい」と述べた。

祝辞で森町長は「今回の新しい市場の完成とともに、今後は市場と一体化した屋根付き岸壁の整備も計画しており、このような整備によって外来船などが多く入港することによって漁港が賑わいであふれることを期待している。本町の発展のカギは第1次産業が握っているため、関係各位のご理解とご協力をお願いしたい」と述べた。



苫前町史執筆者会議を開催

1月24日(月)役場大会議室で第1回苫前町史執筆者会議を開催、編集計画や分担、要領の確認を行った。

苫前町史は開村130年を記念し、昭和57年発刊、史実を後世に伝え、将来の基礎資料として活用するため編集を行うもの。発刊時期は本町が150年を迎える平成42年度をメドとしているが、すでに発刊から約30年が経過、執筆や編集に多数の資料や住民の方への聞き取りなどが必要であるため、昭和56年から現在までの作業を行うこととなった。

町史執筆者会議代表の関秀志さんは、「町史の執筆・編集は、心身共に大変ハードな作業で短期間で完成することは容易ではない。町理事者や編さん委員会ほか関係者の理解と支援をお願いしたい」と述べた。



救える命を救うために～農協婦人防火クラブ研修会～

町農協婦人防火クラブ(松原ミヤ子会長)の研修会が1月27日(木)公民館で実施され、会員約30名が普通救命講習を行った。



本町では、119番通報から現場到着までに最長で30分、平均で約9分かかる。その間、呼吸停止から何もしない状況での蘇生率は約20%しかないということから、救命率の向上を図るため、北留消防組合苫前支署・古丹別支署では中学生以上の住民を対象に普通救命講習を実施してきた。

本研修では、古丹別支署の白府正志救命係長を講師に心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)を使った蘇生方法の講義の後、人形を使って実技講習を行った。

会員は、職員からのアドバイスを元に、意識・呼吸確認、人工呼吸と心臓マッサージを実施、AEDの使い方をあわせて学習を深めていた。

❀❀ 各団体による除雪ボランティアが各地域で活動 ❀❀

1月中旬から2月中旬にかけて各学校、団体などが町内の高齢者世帯や独居世帯で近隣に身内がないなどの理由で除雪が困難な世帯を対象に、ベランダや窓、屋根などの除雪をボランティアで実施した。1月上旬までに屋根やベランダに雪が大量に積もるなど深刻な状況だったが、各学校・団体の申し出があったため、町社会福祉協議会(笹原進会長)では急速「除雪ボランティア活動調整会議」を1月21日(金)に開催、日程や場所の割り振りを行った。今回は新たに自衛隊留萌駐屯地第2中隊より隊員の休暇を利用して協力したいとの心強い申し出があった。



自衛隊留萌駐屯地第2中隊、30日(日)は苫前町消防団苫前分団(佐藤利幸団長)が実施した。

2月4日(金)には苫前中学校(半澤豊秀校長)全校生徒と教員が、8日(火)は苫前商業高等学校(金濱茂校長)全校生徒、11日(金)には古丹別中学校(長谷川博校長)全校生徒と教員、そして13日(日)苫前町消防団古丹別分団(三輪重人団長)がそれぞれ実施した。

このように広がった善意の輪は10団体221名となり、除雪を行った町内の50世帯が安心して過ごせるようになりました。除雪を行った皆さん本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



健康食品について学習を深める～寿いきいき教室～

1月28日(金)公民館において寿いきいき教室が開催され、約50名の高齢者が健康食品と保健機能食品についての学習を深めた。講師は社団法人北海道消費者協会非常勤講師の竹田加代さん。



健康への不安から健康食品などを利用されている方も多いが、健康食品がどのようなものかを知らずに利用されている方も多いため、健康食品とはどのようなものかを利用する際の注意点を中心に学習を行った。

健康食品は定義づけて規制する法律はなく、病気に対する効能効果を期待させていることや健康食品に添加されている成分と現在飲んでいる薬の医薬品の成分との相互作用で薬の効き目が強く出たり、弱く出たり、ときには副作用が強くなるなどの症状も想定されるということに、参加者は驚いていた。最後に竹田さんは「健康食品を利用する際は、医師や薬剤師に相談し、お財布や身体と相談して利用すること。必要な栄養は毎日の食事からとること」と述べ、参加者もうなずきながら真剣に耳を傾けていた。

地元で採れる農産物・水産物を使った料理教室を開催 ～苫前消費者協会～

2月2日(水)公民館にて苫前消費者協会(逢坂武子会長)主催による地元で採れる農産物・水産物を使った料理教室を開催、約30名が参加した。

時期的に地元の農産物・水産物の使用は少なかったが、旬となる時期に再度作ることができるよう会員が「えびのスープカレー」「タコのマリネサラダ」など4品の作り方を役場町民課の駒井紅美栄養士より学んだ。

会員全員が主婦とあって手際はスムーズに進み、試食。普通のカレーは食べたことがあってもスープカレーを食べたのは初めての方もいて「観光客も喜ぶのでは」という方もいて評判は上々だった。

試食の後は、軽運動ということで社会教育課の下田学体育振興係長よりストレッチ体操が行われ、参加者はお腹も身体も満たしたようだ。



みんなて鬼退治だ～！～町内保育園(所)で豆まき～



節分の日の2月3日(木)町内両保育園では豆まきが行われ、園児が元気に鬼退治をした。苫前保育園(青木久美子園長)では北留萌消防組合苫前支署職員2名が鬼となり豆まきが行われた。鬼があまりにリアルなことから事前に鬼役を紹介した後の豆まきだったが、園児にとってはやっぱり怖いようで泣き出す子や逃げ回る子が続出。最後は無事に鬼を退治した。

古丹別保育園(川森のり子所長)では、園児の中にいる弱い鬼を追い出した後に豆まきがスタート。かわいらしい鬼の着ぐるみを着た川森所長に園児が一斉に豆をまいたが、手持ちの豆が無くなり、落ちている豆を一生懸命拾う子もいたが、こちらも無事に鬼退治を行った。



水稻・酪農研修会で全国のお米を食べ比べ ～岩見地域環境保全隊～

2月4日(金)岩見ふれあいホールにて岩見地域環境保全隊(今雄司代表)の水稻・酪農研修会が行われ、約30名が参加した。



水稻育種に関する講演として上川農業試験場の菊池治己場長が北海道農業の歩みや有機農業のすすめ、お米に関する話を聞いた後、お昼に地元の花井望睦さんがつくった「ゆめぴりか」と今光さんがつくった「ななつぼし」と全国の優良米である山形県のとや姫や高知県のにこまるなどの食べ比べを行い、花井さんが第1位、今さんも第3位となった。この後、沖縄県のちゆらひかりや高知県のヒノヒカリなどのお米も試食、午後からは水稻雑草やいもち病などの学習も行われた。

落語で初笑い ～とままえ落語会～

2月4日(金)公民館においてとままえ落語会が行われ、約70名が来場、落語を満喫した。この日の出演はこの時期お馴染みの柳家さん喬師匠と本町では初となる関西弁の露の新治師匠。

新治師匠は「狼講釈(おおかみごうしゃく)」と「紙入れ」を、さん喬師匠は「二番煎じ」と「人情咄文七元結(ぶんしちもつとい)」を披露した。

新治師匠の「紙入れ」では、妖艶なおかみさん演じる新治師匠の容姿とのギャップに笑いがあふれていた一方、さん喬師匠の「文七元結」では、人情味あふれる話に来場者も聞き入っていた。笑いあり、感動ありの高座に来場者も大いに満足した表情で会場を後にしていた。



がんばったイグルーづくり ～とままえふるさと塾～



2月6日(日)公民館前でとままえふるさと塾「イグルーをつくろう」が開催され、町内の小学生・保護者などあわせて約30名が参加した。

前日からの天候でイグルーをつくるには適さない雪質だったが、表面を削り中の固い雪をスノーソーと呼ばれる雪専用のノコをつかって雪の固まりを1つずつ積み上げて作られた。

雪の固まりがうまく乗せられず、雪に水を混ぜベタ雪を作り接着したり、固まりに直接水をかけたりと悪戦苦闘しながらも子ども達は完成を目指し黙々と作業し続け、約2時間かかって完成した。

子ども達は満足そうな表情で完成したイグルーの中で遊んでいた。

インターネットによる被害を防ごう

～ 苫前中学校 P T A 教育講演会・消費者講座～

2月8日(火)苫前中学校において苫前中学校 P T A 教育講演会と町消費者講座が開催され、苫前中学校の生徒、教員そして保護者の約60名が参加し開催された。

講師は一般社団法人 E C ネットワーク理事の原田由里さん。原田さんは消費者のインターネット取引に関するトラブルの相談などを受け付けており、相談の事例などを含めてインターネットにおけるマナーや書き込みなどの注意点などを話した。さらに、個人情報やインターネット上に公開することは非常に危険で、犯罪に利用されるなど様々な被害が考えられること、インターネットに1度出た情報を回収することは非常に困難で、安易に個人情報を公開しないよう注意を促すとともに、被害にあった場合は1人で悩まずに保護者や先生などの大人に相談することが必要と述べた。



現在は携帯電話の所持している生徒は少ないが、将来的にほぼ全員が携帯電話を所持したり、インターネットに接することから、生徒も真剣に耳を傾けていた。

成人講座 「化粧品と上手につきあうために」

2月9日(水)公民館で成人講座「化粧品と上手につきあうために」が開催され、町内の一般成人約20名が参加した。講師は社団法人北海道消費者協会非常勤講師の大嶋百合子さん。

化粧品も高額のものから100円で購入できるものまで幅広くあるが、その品質や成分を見ることは少ないことから、よい消費者を育てることを目的として今回の講座が計画された。

化粧品は薬事法によって使われている成分をすべて表示することが義務づけられているが、高額な化粧品と安く購入できる化粧品の表示の違いに参加者も驚いていた。また、紫外線防止化粧品(日焼け止め)のUVBとUVA、PAの+の1～3までの違いなどについても述べ、数字が増えることは肌への負担も大きくなるため、長袖や帽子などの化粧品以外の対策も含めて予防することなどが話された。大嶋さんは「化粧品の銘柄によって価格に差があるが、品質との関係は一概には言えないが、化粧品に過剰な期待を持つのは禁物。安さや広告などに惑わされず、自分の肌にあった化粧品の種類を少なく、適量使用することが望ましい」と述べた。



統一地方選挙実施本部を設置



2月10日(木)苫前町選挙管理委員会(内田靖生委員長)では統一地方選挙実施本部(本部長同委員長)を設置し、本格的な業務を始めるにあたり、役場庁舎正面入口に実施本部の看板を掲げた。

今年の北海道知事、北海道議会議員選挙は4月10日、苫前町長、苫前町議会議員選挙は4月24日が投票日となっている。なお、苫前町議会議員は、10議席から8議席と2議席の定数減となる。

内田本部長は「公正な選挙を目指すとともに、投票率を上げるための努力をしていきたい。戸別訪問など違反行為には十分気をつけてほしい」と述べた。

期日前投票のできる場所と期間 (知事・道議)

場 所	期 間	投票できる時間
苫前町役場 職員休養室	3月25日(金)から (道議は4月2日から) 4月9日(土)まで	午前8時30分から 午後8時00分まで
苫前町公民館 研修室	4月6日(水)から 4月8日(金)まで	午後3時00分から 午後7時00分まで
	4月9日(土)	午前9時00分から 午後7時00分まで

(町長・町議)

場 所	期 間	投票できる時間
苫前町役場 職員休養室	4月20日(水)から 4月23日(土)まで	午前8時30分から 午後8時00分まで
苫前町公民館 研修室	4月20日(水)から 4月22日(金)まで	午後3時00分から 午後7時00分まで
	4月23日(土)	午前9時00分から 午後7時00分まで

※投票区にかかわらずどちらの投票区でも投票できます。

統一地方選挙の告示日と投票日

区 分	告 示 日	投 票 日
北海道知事	3月24日	4月10日
北海道議会議員	4月1日	
苫前町長	4月19日	4月24日
苫前町議会議員		

投票時間 ※各投票所で閉じる時間が異なりますのでご注意ください

投 票 区	投 票 時 間	投 票 日
第1 (苫前・栄浜・旭) 第2 (古丹別)	午前7時から 午後7時まで	第4 (上平) 第7 (三溪) 第8 (岩見) 第9 (東川) 第10 (豊浦・興津・昭和) 第11 (小川)
第3 (力屋) 第5 (長島・香川) 第6 (九重) 第12 (港・三豊)	午前7時から 午後6時まで	
		午前7時から 午後5時まで

● 子どもに負けず、大人も大活躍！～留萌支庁長旗争奪管内かるた大会～ ●

2月13日(日)公民館において第40回留萌支庁長旗争奪管内かるた大会兼第1回留萌管内かるた連合会大会が開催され、留萌市、羽幌町など留萌管内から愛好者18チーム54名が参加、本町からもA級(50歳以上)に1チーム、B級に3チームが出場した。

本町の渡辺達也大会長が「これから下の句かるたの普及と青少年健全育成に協力していきたい」と挨拶、来賓として森町長、川手雅紀留萌振興局保健環境部長から祝辞のあと、本町北斗の梅チームの田沢翔太さんが選手宣誓を行い、試合が開始された。試合では各シートで「あがった」「入った」の音が響き、熱戦を繰り広げた結果、本町から3チームが入賞し、子どもに負けない成績を残した。

結果は次のとおり(本町のみ掲載)

○A級(50歳以上)の部

準優勝：北斗の金チーム 渡辺達也・秋山修・田沢収

○B級の部

優勝：北斗の梅チーム 田沢翔太・前田瞳・蟻戸敏央

準優勝：北斗の竹チーム 福田春佳・大沼昇平・前田玲



TTPPについての学習を深め、強く反対へ！～第31回輝く女性の集い～

2月15日(火)公民館において町農業協同組合女性部(早川友子部長)主催の第31回輝く女性の集いが町内より44名の参加で開催された。早川部長は「去年は天候に悩まされ、農作物の収量減、価格の低迷など頭の痛い1年だった。今年は仲間と団結、自信と誇りを持ち、努力が報われる良い年となるよう祈念している」と挨拶、町農業協同組合の酒井丈幸参事からは「TTPPへの参加は農村地域の崩壊に繋がるため、農協としても各関係団体等へ署名運動などを行い、断固として反対していく」と挨拶した。



その後、TTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)についての研修として、J A北海道中央会旭川支所の脇坂勇亮さんが講師となり、TTPPとはどのようなものか、導入することへの影響などを学習、改めて反対の思いを強くした。

● 苫前町建設協会長杯ミニバレーボール大会 ●

2月20日(日)スポーツセンターにおいて苫前町建設協会長杯ミニバレーボール大会が、男女混合の部に13チーム、女子の部に4チームあわせて約90名が参加し開催された。

地域社会貢献事業の一環として初めて行われたこの大会は、建設協会をもっと知ってもらうことを目的に、地域住民の方々の交流の場として開催、チーム野村の辻千種さん、鈴木智大さんの「けがの無いようがんばります」と選手宣誓で大会がスタートした。

好プレーや珍プレーが飛び出し随所に笑い声が響くなど、終始和やかに進み、楽しい1日となった。

結果は次のとおり

○第1部

優勝：ミニバレー興業

準優勝：チーム野村

第3位：光組

○第2部

優勝：チーム風来望

準優勝：チーム橋場

第3位：MAX

○女子の部

優勝：ストロベリーズ

準優勝：チームさくら

第3位：M・O



町食生活改善協議会主催男前料理教室



町食生活改善協議会(間宮由紀子会長)主催の男前料理教室が2月22日(火)公民館において、男性9名の参加で開催された。

みそ汁から始める朝ごはんをテーマに実施された教室では、食事の基本となるごはんのみそ汁の手順を確認しながら、豆腐ステーキのこあんかけやほうれん草など5品を作った。

予想に反して手際の良い参加者が多く、調理がスムーズに進んだため、途中に「ごはんのおいしい炊き方」の話を交えながら行われたが、「みそ汁のダシは何でとったらいのか」などの質問も出て、意欲あふれる教室となった。

★☆☆☆☆ 新入生が元気に登園・登校できるように！～昔前婦人会によるマスコットづくり～ ☆☆☆☆☆

昔前婦人会(小野章子会長)が毎年町内保育園(所)児と新1年生に配布しているクマとカエルのマスコットづくりが2月22日(火)福祉センターで行われた。

これは、園児や新1年生が事故なく無事に登園・登校できるようにと毎年行われ、約15年間続けているもの。クマは、本町のイメージキャラクターであることや本町の交通安全の旗に描かれていることから使われている。カエルは交通安全の街灯啓発用に使われており、無事カエルの思いが込められている。

この日も12名の会員が手作業で祈りを込めながら作成した。



地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

力昼町道・古丹別小学校前の除雪 ～株式会社清野建設～

一般国道232号苦前町上平橋補修外一連工事・古丹別川広域河川改修工事(補正)を実施の株式会社清野建設(森竹昌基社長)が1月27日(木)に力昼の町道、2月12日(土)には古丹別小学校前の除雪を地域社会貢献事業として実施した。

力昼の町道は、12月から降り続いた積雪により道路が埋まった状態で通行に支障をきたしておりました。また、古丹別小学校前についても玄関付近の積雪が多く、児童の登下校に支障があるということで、苦慮していましたが、雪もきれいに除雪され、力昼町道付近の住民と古丹別小学校児童も心配なく、利用することができそうです。

ありがとうございました。



上平ふれあいセンター前の除雪～山本建設工業株式会社～

一般国道232号苦前町上平道路災害防除工事を実施の山本建設工業株式会社(山本啓一社長)が12月30日(木)に上平ふれあいセンター前の除雪を地域社会貢献事業で実施した。

同月下旬に降った雪によりセンター前の入口がふさがれたため、大変苦慮していましたが、きれいに除雪されました。

ありがとうございました。



北海道凧あげ大会駐車場の除雪・圧雪及び凧あげ会場通行道路の除雪

～ハラダ工業株式会社苦前支店～



ハラダ工業株式会社苦前支店(滝本和浩取締役苦前支店長)が2月21日(月)に凧あげ大会駐車場となるとまままえ温泉ふわっと近くの本町の広場の除雪と圧雪を、2月25日(金)には凧あげ会場となるオートキャンプ場へ続く道路の除雪を地域社会貢献事業として実施した。

2月27日(日)の開催に向け準備を進めておりますが、今年は昨年からの大雪により会場周辺の雪も多めで、除雪の経費を心配しておりましたが雪も取り払われ、来場者も不便なく駐車・通行することができるようになりました。ありがとうございました。

JA苦前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は

3月：先月号に3月10日(木)、24日(木)と掲載しましたが、水元医師の都合により、3月中は休診となります。
4月：決まり次第、回覧板にてお知らせします。

※電話での問い合わせは
(☎65-3535)

JA 苦前厚生クリニック



3月は滞納処分強化月間です

留萌振興局では、月間中、給与・預金等財産の差押えを強化します。



自動車税など道税の未納のある方は早急に納税してください。

自動車税など道税の納税に関する相談は下記まで連絡願います。

留萌振興局地域政策部税務課(☎0164-42-8418)